

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 22.4.13 第 174 回国会第 17 号

4 月 13 日（火）、第 17 回の委員会が開かれました。

1 医療保険制度の安定的運営を図るための国民健康保険法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 28 号）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）全国市長会副会長社会文教委員会委員長大阪府池田市長	倉田 薫君
健康保険組合連合会常務理事	白川 修二君
全国健康保険協会理事長	小林 剛君
立教大学コミュニティ福祉学部教授	芝田 英昭君
神奈川県立保健福祉大学教授	山崎 泰彦君
中央社会保障推進協議会事務局長	相野谷 安孝君

（質疑者及び主な質疑内容）

（参考人に対する質疑）

郡 和子君（民主）

- ・協会けんぽの保険料率の上げ及び引上げ幅抑制のための特例措置について、運営委員会及び支部評議会からの評価や意見はどのようなものであったのか小林参考人に伺いたい。
- ・後期高齢者支援金の算定に 3 分の 1 の総報酬割を導入することについて小林参考人、白川参考人及び山崎参考人の見解を伺いたい。

阿部知子君（社民）

- ・後期高齢者医療制度で最も問題と思われる 75 歳以上の者に対する保険者機能の位置づけがあいまいになっていることについて倉田参考人の見解を伺いたい。
- ・市町村の担うべき保険者機能や、都道府県単位の広域連合が果たすべき役割についてどのように考えるのか、芝田参考人及び山崎参考人の見解を伺いたい。
- ・特定健康診査は健康増進による医療費の軽減を目的として導入されたが、協会けんぽの医療費の軽減となっているのか、小林参考人の見解を伺いたい。

田村憲久君（自民）

- ・健保連は平成 20 年の政管健保への財政支援についてはやむなく了承しているが、本法律案における協会けんぽへの財政支援に反対する理由について、白川参考人の見解を伺いたい。
- ・後期高齢者支援金の算定の 3 分の 1 に総報酬割を導入するよりも協会けんぽに対する国庫補助率をさらに引上げる方が望ましいのではないかと小林参考人の見解を伺いた

い。

- ・後期高齢者医療制度の枠組みについては残してほしいとの発言について、修正すべき箇所はいずれか倉田参考人の見解を伺いたい。

古屋範子君（公明）

- ・現政権の後期高齢者医療制度廃止の方針について山崎参考人はどう考えるか。また、同制度の更なる改正に向けて与野党や関係者で検討し、大きな方向性を示すべきとの考えについてはどう考えるか。
- ・後期高齢者医療制度における都道府県の関与の現状と課題、今後の関与の在り方について倉田参考人の見解を伺いたい。
- ・健保連は後期高齢者支援金の算定について総報酬割の一部導入は国庫負担の肩代わりであると主張されている。こうした措置の前に、まず新たな高齢者医療制度の在り方の方向性が示されるべきだと考えるが、白川参考人の意見を伺いたい。

高橋千鶴子君（共産）

- ・国民健康保険は相互扶助ではなく社会保障であるとの考えや、国保の広域化は医療費抑制策であり、市町村間を競争させるもので問題との考えに関する芝田参考人の見解を伺いたい。
- ・市町村国保の保険料の取り立ての実態と本来のあるべき姿について相野谷参考人に伺いたい。また、市町村が過酷な取り立てをするのは収納率アップが国の方針だからではないのか、この点についても見解を伺いたい。
- ・後期高齢者医療制度は高齢者の保険料負担と若年層の支援金負担とが重くなり、世代間の対立を招くものと考え

られることから、ただちに廃止すべしとの意見について相野谷参考人の所見を伺いたい。

- ・健保は保険者機能を発揮しているにもかかわらず、国庫負担の肩代わりなどを求められるのでは、保険者機能の発揮に対するインセンティブが働かないのではないかと考えるが白川参考人の見解を伺いたい。

柿澤 未途君(みんな)

- ・健保の経常収支の赤字額が最大となっている中、2015年には後期高齢者支援金等の割合が健保組合員の医療費を

超えるとの試算がある。健保の財政状況の逼迫について白川参考人の所見を伺いたい。

- ・協会けんぽは赤字を3年間で返済するとしているが、赤字の繰延べを繰返し、返済不能になる不安がある。返済の取組についての決意を小林参考人に伺いたい。
- ・協会けんぽにおいては業務効率化といいながら、業務経費や人件費が増加傾向にあるのは矛盾していないか。また、ジェネリック医薬品の使用促進についても際だっているとは思えない。こうした指摘に対する小林参考人の見解を伺いたい。